

# 左京はあとふるプラン

## ニュースレター第7号



2013年4月発行／左京区役所地域力推進室

左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画)が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

## 左京区の未来をつくる区民会議を開催しました！

3月22日に、第12回次代の左京まちづくり会議・第6回左京区住民円卓会議を合同で開催しました。会議では、平成25年度予算「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」等の概要について説明を行いました。



### 予算の概要

平成25年度 予算額 23,120千円(昨年度から約2,000千円増額)

区民の自主的な活動を支援するため、左京区まちづくり活動交付金を増額するなど「地域力」の強化を図る取組を更に推進します。

### 主な事業

- ・左京区まちづくり活動支援交付金(7,258千円)
- ・左京の自然を愛でるプロジェクト～チマキザサの再生を左京から(800千円)
- ・防災対策を通じた地域コミュニティの強化モデル事業(2,000千円)
- ・北部地域の古民家ネットワーク事業(1,000千円)
- ・みんなでつくる左京朝カフェ～朝からつながるまちづくり(200千円)
- ・地域活性化プロジェクト「左京×学生 縁ねっと」(1,200千円)
- ・ようこそお母さん事業(960千円)
- ・高齢者にやさしい店(780千円)



### 地域でご活用ください

#### ・街頭防犯カメラの設置促進補助事業

街頭での犯罪の発生を抑制するため、地域団体を対象に防犯カメラの購入など経費の一部を補助します。申請時期：4～5月頃

#### ・地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度

自治会・町内会が行う、加入促進に向けた自主的な取り組みに対して経費を助成します。募集時期：5月頃

#### ・学生ボランティアと地域のまちづくり活動をつなぐ

##### 「左京×学生 縁ねっと」事業

「学生ボランティアの力を活かしたい！」という地域活動や事業がありましたら、区役所、区社会福祉協議会へ御連絡ください。

### 左京区を応援してください！

#### だいすきっ！京都。寄付金

京都市では、京都の文化や自然を大切に、次の世代に引き継いでいくため「だいすきっ！京都。寄付金」を募っています。

平成25年度から寄付金の使途を「左京区の地域振興」と指定いただくと、その全額が左京区役所の予算に計上され、左京区のまちづくりに役立てることができます。

※確定申告することにより所得税及び住民税の寄付金控除が受けられます。

## 次代の左京まちづくり会議宗田座長から御挨拶いただきました

左京区には、市の区の中で最多の6大学があることなどから、人口の入れ替わりが大きく、地域の絆を深めることが難しい状況にある。「左京区まちづくり活動支援交付金」、「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」等の活用により、地域を支えていく後継者の育成に繋げて、地域の絆を深め、「左京区に住んでいることが幸せだ、日本でいちばん住みやすいまちだ」と皆様に感じていただけるまちづくりを進めたい。東日本大震災後の被災地での復興に向けたまちづくりでも浮き彫りになったように、これから高齢化していく地域社会の中で、若い世代、女性の意見がますます重要になっている。平成24年5月から開催されている「左京朝カフェ」では学生、子育て世代の方が多く参加されており、「地域にこんな元気な方がおられたのか、こんな活動が始まっているのか。」と驚きを得られると思うので、皆様にもぜひ一度覗いていただきたい。

## 合同会議終了後、次代の左京まちづくり会議を開催しました

### (主な議題)

- ・次代の左京まちづくり会議企画事業「左京の自然を愛でるプロジェクト」について
- ・左京区まちづくり活動支援交付金の審査について

### 意見交換

### (概要)

#### <左京の自然を愛でるプロジェクト>

・左京区北部の花脊・別所地域等に分布し、祇園祭での粽<sup>ちまき</sup>・京料理・和菓子等に活用されてきたチマキザサが絶滅の危機に瀕しており、京都の文化を支えている笹の復活に向けて、25年度は本格的に取り組みたい。地域や家庭で笹を育てるだけでなく、笹が活用されるまでの加工工程等も見ていただきたい。笹の加工には高度な技術が求められ、

次世代に受け継いでいく必要がある。笹の加工技術を伝承していく人材が生まれることも期待している。さらには、地域の文化である笹団子づくりの工程もぜひ知っていただきたい。

・祇園祭でも欠かせない笹を市内で復活させていくというこの事業は非常に意義深い。多方面の方を巻き込むことで、笹の文化的な側面をより多くの方に知ってもらうのが、この事業の大きな目標の一つである。祇園祭に深く関わりがあっても、祇園祭で使われる大量の粽が、どの地域でどのように加工されているのか、ほとんどの方が知らないのではないかと。笹を利用している方と笹の供給者をつなげていくことも重要である。

・京都の年中行事を支える自然は左京区の里山にあるということを区民に気付いてもらい、里山に足を運んでもらうのが、事業の狙いの一つでもある。これをきっかけに更に取組を広げたい。

#### <左京区まちづくり活動支援交付金の審査について>

・交付金の審査会は、申請された区民団体に区役所まで出向いていただき、直接思いをお話しいただく貴重な機会である。このような機会に区民の方に区役所まで足を運んでいただく中で、まちづくり活動の拠点としての区役所の機能が強化されてくるのではないかと。

・24年度の審査会は公開審査としていたが、他の申請団体のプレゼンテーションを見学している団体がほとんどなかった。25年度は申請団体がお互いに切磋琢磨するためにも、見学を促すようにするべきである。



今回の会議では、25年度の事業実施に向けて具体的な議論をしていただきました。

25年度の事業についても、順次お知らせしていきますので楽しみに！